

注3

大学番号：038

[平成26年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

金沢大学大学院 自然科学研究科 物質化学専攻
(博士課程) 外3専攻

【事前伺い】 設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 金沢大学
平成26年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務部総務課

職名・氏名 法規・調査係長・^{タカハラ}高原 ^{ケンイチ}憲一

電話番号 076-264-5014

(夜間) 076-264-5014

F A X 076-234-4010

e-mail houki@adm.kanazawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部(平成◇◇年度より変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

3 大学番号の欄については、平成26年3月20日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書」の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

1	調査対象大学院等の概要等	1
2	授業科目の概要	9
3	既設大学等の状況	21
4	教員組織の状況	24
5	その他全般的事項	25

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 金沢大学

(2) 大学名

金沢大学大学院 自然科学研究科

(3) 大学の位置

自然科学研究科 物質化学専攻（博士課程） 外3専攻（及び本部）

〒920-1192

石川県金沢市角間町

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成24年度開設の博士後期課程の場合(平成26年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(4) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
自然科学研究科	年	人	人	基礎となる専攻等
物質化学専攻(博士後期課程) 博士(理学・工学・学術)	3	14	42	物質化学専攻 (博士前期課程)
機械科学専攻(博士後期課程) 博士(工学・学術)	3	25	75	機械科学専攻 (博士前期課程)
環境デザイン学専攻(博士後期課程) 博士(工学・学術)	3	10	30	環境デザイン学専攻 (博士前期課程)
自然システム学専攻(博士後期課程) 博士(理学・工学・学術)	3	21	63	自然システム学専攻 (博士前期課程)

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(4) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

〈物質化学専攻〉

区 分	報告年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入 学定員 超過 率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		人 14 (-) [-]	人	人 () []	人	人 () []	人	0.35倍	
志願者数		5 (2) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数		5 (2) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数		5 (2) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数		5 (2) [2]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A		0.35							

〈機械科学専攻〉

区分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	25						0.32倍	
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	8									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	8									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	8									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	8									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	0.32									

〈環境デザイン学専攻〉

区分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	10						0.50倍	
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	6									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	5									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	5									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	5									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	0.50									

〈自然システム学専攻〉

区分	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	0.42倍	
	21									
	()	()	()	()	()	()	()	()		
	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
志願者数	10									
	(2)	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
受験者数	10									
	(2)	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
合格者数	10									
	(2)	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
B 入学者数	9									
	(2)	()	()	()	()	()	()	()		
	[1]	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[]		
入学定員超過率 B/A	0.42									

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ () 内には、社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位まで**記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(4) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

〈物質化学専攻〉

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 5	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[2] 5	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

〈機械科学専攻〉

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 8	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[2] 8	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

〈環境デザイン学専攻〉

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[2] 5	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[2] 5	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	

〈自然システム学専攻〉

学 年	報告年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[1] 9	[-] -	[]	[]	[]	[]	[]	[]	
2年次	/		[]	[]	[]	[]	[]	[]	
3年次			[]	[]	[]	[]	[]	[]	
計	[1] 9		[]	[]	[]	[]	[]	[]	

- (注)
- ・ 数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。
 - ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(4) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

〈物質化学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	5人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	5人	0人					0%

〈機械科学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	8人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	8人	0人					0%

〈環境デザイン学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	5人	0人	平成26年度	0人	0人		0%
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合計	5人	0人					0%

〈自然システム学専攻〉

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	9 人	0 人	平成26年度	0 人	0 人		0 %
			平成27年度	人	人		
			平成28年度	人	人		
平成27年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
			平成28年度	人	人		
平成28年度 入学者	人	0 人	平成27年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	5 人	0 人					0 %

(注)・数字は、平成26年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成26年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

	超分子材料化学	1・2・3後	2		1						
	有機薄膜物性評価	1・2・3後	2		1						
	光電気化学	1・2・3前	2		1						
	電気化学反応論	1・2・3後	2		1						
	有機系太陽電池概論	1・2・3前	2		1						課程の充実を図るため、授業科目追加(26)
	水圏地球化学	1・2・3前	2		1						
	微生物環境化学	1・2・3後	2		1						
	有機典型元素化学	1・2・3前	2		1						
	有機光化学	1・2・3後	2		1						
	分子集合体溶液論	1・2・3前	2		1						
	界面物理化学特論	1・2・3後	2		1						
	物質設計分光学	1・2・3前	2		1						
	有機反応機構論	1・2・3後	2		1						
	鉄鋼表面化学	1・2・3前	2						兼 1		連携講座 課程の充実を図るため、授業科目追加(26)
	鉄鋼分析化学	1・2・3前	2						兼 1		連携講座 課程の充実を図るため、授業科目追加(26)
共通科 専目 攻	自然科学特別研究	1～3通	2			1816	15			兼 6	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
	自然科学特別演習	1・2・3前・後	2			1816	15			兼 6	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	56	0	58	2	61	0	63	
				[0]	[5]	[0]	[5]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 機械科学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	学内基礎研修	1・2・3前・後		1		1							
	産学連携イノベーション育成プログラム 長期学外実践研究	1・2・3前・後		3							兼 1		
	国際コミュニケーション演習	1・2・3前・後		2			1						
	キャリアパス形成ゼミ	1・2・3前・後		2							兼 1		
	技術経営論入門	1・2・3前・後		2							兼 12		
	技術マネジメント基礎論	1・2・3前・後		2			1				兼 9		
	ニュービジネス創造論	1・2・3前・後		2			1				兼 6-7	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)	
	地域ビジネス論	1・2・3前・後		2							兼 9		
	人材活用術	1・2・3前・後		2							兼 6		
	環境マネジメント論	1・2・3前・後		2							兼 12-13	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)	
	BioAFMプログラム	バイオイメーキング技術特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
		一分子ナノバイオロジー特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
		超解像AFM計測特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
		超分子複合体構造学特論	1・2・3前・後		2							兼 3	
	RSETプログラム	太陽電池工学特論	1・2・3前・後		2							兼 4-6	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
		再生可能エネルギー特論	1・2・3前・後		2							兼 6	
		炭素循環技術特論	1・2・3前・後		2			1				兼 5	
		エネルギー・環境材料工学特論	1・2・3前・後		2							兼 9	
		バイオマス利用・環境技術特論	1・2・3前・後		2							兼 5	
総科目	機能創成システム学	1・2前・後		2		13+2	11-9	2				教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)	
	知的システム創成学	1・2前・後		2		8	7	1				1科目2単位以上必修	
専門科目	転位運動論	1・2前・後		2			1						
	光応用計測特論	1・2前・後		2			1						
	金属物性	1・2前・後		2			1						
	材料強度の物理学 膜酵素構造生物学	1・2前・後		2			1					最終確認で誤字があり科目名訂正(26)	
	量子ビーム材料評価論	1・2前・後		2			1						
	ファインメカトロニクス	1・2前・後		2			1						
	知的自律移動ロボット	1・2前・後		2					1				
	知能システム工学	1・2前・後		2			1						
	応用トライボロジー特論	1・2前・後		2					1				
	航空宇宙機の制御	1・2前・後		2				1					
	テキスタイル物性論	1・2前・後		2			1						
	ロボットテクノロジー特論	1・2前・後		2			1						
	繊維機械システム論	1・2前・後		2			1						
	計算材料力学特論	1・2前・後		2				1					
	応用加工論	1・2前・後		2			1						
	エネルギー流体システム特論	1・2前・後		2			1						
	燃焼応用工学特論	1・2前・後		2				1					
	環境流動計測論	1・2前・後		2			1						
	界面熱力学特論	1・2前・後		2				1					
	応用代数学	1・2前・後		2			1						
数理物理学	1・2前・後		2			1							
実解析とその応用	1・2前・後		2				1						
偏微分方程式とその応用	1・2前・後		2				1				課程の充実を図るため、授業科目追加(26)		
生産加工特論	1・2前・後		2				1						
知能化設計論	1・2前・後		2							兼 1	担当教員学長就任により担当教員不在のため授業科目廃止(26)		

日	最適化学 数理システム最適化論	1・2前・後	2		1						科目の内容に照らし、科目名変更(26)
	創造開発科学	1・2前・後	2		1						
	臨床バイオメカニクス特論	1・2前・後	2		1						
	スポーツ工学	1・2前・後	2				1				
	バイオサイバネティクス特論	1・2前・後	2		1						
	身体運動ダイナミクス特論	1・2前・後	2			1					課程の充実を図るため、授業科目追加(26)
	ティッシュエンジニアリング特論	1・2前・後	2			1					
	ロータダイナミクス	1・2前・後	2		1						
	知的構造システム特論	1・2前・後	2			1					
	知的情報機械システム論 オブジェクトモーション論	1・2前・後	2			1					科目の内容に照らし、科目名変更(26)
	人間機能定式化論	1・2前・後	2		1	1					担当教員昇任により教員配置変更(26)
	材料機能設計	1・2前・後	2		1						
	環境負荷低減工学特論	1・2前・後	2		1						
	熱エネルギーシステム論	1・2前・後	2			1					
	熱流動シミュレーション論	1・2前・後	2		1						
	金属材料物性特論	1・2前・後	2			1					
	水循環プロセス論	1・2前・後	2		1						
	鉄鋼材料科学Ⅱ	1・2前・後	2						兼 1		連携講座
	鉄鋼製造プロセス論Ⅱ	1・2前・後	2						兼 1		連携講座
	内燃機関の燃焼と熱力学	1・2前・後	2						兼 1		連携講座
排出ガス浄化と電気工学	1・2前・後	2						兼 1		連携講座	
専攻科目共通	自然科学特別研究	1～3通	2			2224	1845	3		兼 5	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
	自然科学特別演習	1・2・3前・後	2			2224	1845	3		兼 5	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 66	科目 0	科目 67	科目 1	科目 67	科目 0	科目 68	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	知能化設計論	2	1・2前・後	専門	選択	担当教員が学長に就任し, 当該授業科目を指導可能な代替教員も不在であるため廃止(代替措置なし)。
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

担当教員が学長に就任し, 当該授業科目を指導可能な代替教員も不在であるため, やむを得ず廃止することとした。平成26年度入学生適用の授業科目一覧には掲載しておらず, 廃止に伴う学生への不利益は発生しないため, 学生への周知は不要。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.01}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 環境デザイン学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	学内基礎研修	1・2・3前・後		1								兼 1	
	長期学外実践研究	1・2・3前・後		3								兼 1	
	国際コミュニケーション演習	1・2・3前・後		2								兼 1	
	キャリアパス形成ゼミ	1・2・3前・後		2		1							
	技術経営論入門	1・2・3前・後		2								兼 12	
	技術マネジメント基礎論	1・2・3前・後		2								兼 10	
	ニュービジネス創造論	1・2・3前・後		2								兼 7-8	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
	地域ビジネス論	1・2・3前・後		2								兼 9	
	人材活用術	1・2・3前・後		2		1						兼 5	
	環境マネジメント論	1・2・3前・後		2		1						兼 11-12	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
	Bio AFM プログラム	バイオイメージング技術特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
	Bio AFM プログラム	一分子ナノバイオロジー特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
	Bio AFM プログラム	超解像 A F M 計測特論	1・2・3前・後		2							兼 2	
	Bio AFM プログラム	超分子複合体構造学特論	1・2・3前・後		2							兼 3	
	RSET プログラム	太陽電池工学特論	1・2・3前・後		2							兼 4-6	教員異動に伴い教員配置を見直しにより教員配置変更(26)
	RSET プログラム	再生可能エネルギー特論	1・2・3前・後		2							兼 6	
	RSET プログラム	炭素循環技術特論	1・2・3前・後		2		1					兼 5	
	RSET プログラム	エネルギー・環境材料工学特論	1・2・3前・後		2							兼 9	
	RSET プログラム	バイオマス利用・環境技術特論	1・2・3前・後		2		3					兼 2	
専門科目	鋼・複合構造特論	1・2前・後		2		1							
	構造設計学	1・2前・後		2		1							
	環境振動学	1・2前・後		2			1						
	環境材料学	1・2前・後		2		1							
	セメントコンクリート組織観察	1・2前・後		2		1							
	コンクリート構造物の診断学	1・2前・後		2			1						
	地盤と基礎構造物の解析 膜酵素構造生物学	1・2前・後		2		1							最終確認で誤字があり科目名訂正(26)
	地盤解析学	1・2前・後		2			1						
	地震防災工学 I	1・2前・後		2		1							
	地震防災工学 II	1・2前・後		2				1					
	沿岸域の水理	1・2前・後		2		1							
	海岸・海洋構造物	1・2前・後		2		1							
	応用水力学	1・2前・後		2			1						
	地球環境と水循環	1・2前・後		2			1						
	計画支援システム学	1・2前・後		2		1							
	都市・地域解析学	1・2前・後		2		1							
	都市保全計画	1・2前・後		2				1					
	建築計画学特論	1・2前・後		2			1						
	最適化手法による意思決定	1・2前・後		2		1							
	交通計画特論	1・2前・後		2		1							
	都市・交通システムモデリング	1・2前・後		2		1	1						担当教員昇任により教員配置変更(26)
環境解析学特論	1・2前・後		2		1								
水環境学	1・2前・後		2		1								
環境エアロゾル工学	1・2前・後		2		1								
環境エアロゾル基礎	1・2前・後		2			1							
極限環境科学概論	1・2前・後		2			1							
大気反応化学 II	1・2前・後		2								兼 1	連携講座	
環境浄化触媒 II	1・2前・後		2								兼 1	連携講座	
励起触媒化学 II	1・2前・後		2								兼 1	連携講座	

共通 専攻	自然科学特別研究	1~3通	2		16+5	8-9	2		兼 3	担当教員昇任により教員配置変更 (26)
	自然科学特別演習	1・2・3前・後	2		16+5	8-9	2		兼 3	担当教員昇任により教員配置変更 (26)

- (注)
- ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 49	科目 0	科目 50	科目 1	科目 49	科目 0	科目 50	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注)
- ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

2 授業科目の概要

<自然科学研究科 自然システム学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科 共通 科目	学内基礎研修	1・2・3前・後		1								兼 1	兼 1 兼 1 兼 1 兼 1 兼 12 兼 10 兼 7 -8 兼 9 兼 6 兼 12 兼 2 兼 1 兼 2 兼 4 -6 兼 6 兼 5 兼 8 兼 3	
	産学連携イノベーション育成プログラム 長期学外実践研究	1・2・3前・後		3								兼 1		
	国際コミュニケーション演習	1・2・3前・後		2								兼 1		
	キャリアパス形成ゼミ	1・2・3前・後		2								兼 1		
	技術経営論入門	1・2・3前・後		2								兼 12		
	技術マネジメント基礎論	1・2・3前・後		2								兼 10		
	ニュービジネス創造論	1・2・3前・後		2								兼 7 -8		
	地域ビジネス論	1・2・3前・後		2								兼 9		
	人材活用術	1・2・3前・後		2								兼 6		
	環境マネジメント論	1・2・3前・後		2		+						兼 12		
	BioAFM プログラム	バイオイメージング技術特論	1・2・3前・後		2									兼 2
		一分子ナノバイオロジー特論	1・2・3前・後		2				1					兼 1
		超解像AFM計測特論	1・2・3前・後		2									兼 2
		超分子複合体構造学特論	1・2・3前・後		2			3						
	RSET プログラム	太陽電池工学特論	1・2・3前・後		2									兼 4 -6
		再生可能エネルギー特論	1・2・3前・後		2									兼 6
		炭素循環技術特論	1・2・3前・後		2			1						兼 5
		エネルギー・環境材料工学特論	1・2・3前・後		2			1						兼 8
		バイオマス利用・環境技術特論	1・2・3前・後		2			1	1					兼 3
総合科目	総合自然システム学特論	1前	2	0		21	19	1						
専 門 科 目	昆虫分子生物学	1・2・3前・後		2			1							
	植物系統解析特論	1・2・3前・後		2			1							
	分子細胞生物学	1・2・3前・後		2			1							
	ゲノム時間生物学演習	1・2・3前・後		2			1							
	膜酵素構造生物学	1・2・3前・後		2			+					兼 1		
	棘皮動物進化発生学	1・2・3前・後		2			1							
	植物代謝生理学	1・2・3前・後		2				1						
	昆虫生態学	1・2・3前・後		2				1						
	進化原生生物学	1・2・3前・後		2				1						
	進化古植物学	1・2・3前・後		2				1						
	タンパク質科学特論	1・2・3前・後		2					1					
	生体エネルギー論	1・2・3前・後		2				1						
	植物集団生物学	1・2・3前・後		2				1						
	分子環境生物学	1・2・3前・後		2				1						
	食品生理機能学	1・2・3前・後		2			1							
	運動生理学特論	1・2・3前・後		2			1							
	陸水生物多様性学	1・2・3前・後		2			1							
	神経免疫病態学	1・2・3前・後		2			1							
	運動器細胞生物学	1・2・3前・後		2			+	1						
	ゲノム機能学	1・2・3前・後		2				1						
自然環境の保全再生学	1・2・3前・後		2				1							
火山学	1・2・3前・後		2			1								
アモルファス惑星地球物質学	1・2・3前・後		2			1								
環境進化生物学	1・2・3前・後		2			1								
古環境変動解析論	1・2・3前・後		2			1								
マントル岩石学	1・2・3前・後		2			1								

鉬物物理化学	1・2・3前・後	2			1						
地球及び惑星ダイナミクス	1・2・3前・後	2			1						
地震活動論	1・2・3前・後	2			1						
放射線地球学	1・2・3前・後	2			1						
大気物質循環論	1・2・3前・後	2			1						
自然地理学	1・2・3前・後	2			1						
エアロゾル工学	1・2・3前・後	2		1							
分子反応工学特論	1・2・3前・後	2		1							
流体相平衡論	1・2・3前・後	2		1							
高分子物性特論	1・2・3前・後	2		1							
酸化ストレス科学特論	1・2・3前・後	2		1							
環境システム解析学	1・2・3前・後	2			1						
エネルギー変換工学特論	1・2・3前・後	2			1						
バイオプロセス工学	1・2・3前・後	2			1						
ナノマテリアル	1・2・3前・後	2		1	+					担当教員昇任により教員配置変更(26)	
生物システム工学	1・2・3前・後	2			1						
がん分子病理学特論1	1・2・3前・後	2						兼5		科目の内容に照らし、科目名変更(26)	
がん分子病理学特論2	1・2・3前・後	2						兼5		科目の内容に照らし、科目名変更(26)	
マグマ進化Ⅱ	1・2・3前・後	2						兼1		連携講座	
海洋リソスフェア進化学	1・2・3前・後	2						兼1		連携講座	
専共科 攻通目	自然科学特別研究	1～3通	2			23	19	1		兼12	
	自然科学特別演習	1・2・3前・後	2			23	19	1		兼12	

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成26年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
2	65	0	67	2	66	0	68	
				[0]	[1]	[0]	[1]	

- (注) ・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 既設大学等の状況

大学の名称	金 沢 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 学 員 定 員	編入 定 員	収 容 員 定 員	学位又 は称号	平均定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
	年	人	年次 人	人					
人間社会学域									
人文学類	4	145	-	580	学士 (文学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
法学類	4	170	3年次 10	700	学士 (法学)	1.00	平成20年度	金沢市角間町	
経済学類	4	185	-	740	学士 (経済学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
学校教育学類	4	100	-	400	学士 (教育学)	1.02	平成20年度	金沢市角間町	
地域創造学類	4	80	-	320	学士 (地域創造 学)	1.04	平成20年度	金沢市角間町	
国際学類	4	70	-	280	学士 (国際学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
理工学域									
数物科学類	4	84		336	学士 (理学)	1.05	平成20年度	金沢市角間町	
物質化学類	4	81		324	学士 (理学・工 学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
機械工学類	4	140	学域 共通 3年次 40	560	学士 (工学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
電子情報学類	4	108		432	学士 (工学)	1.06	平成20年度	金沢市角間町	
環境デザイン学類	4	74		296	学士 (工学)	1.08	平成20年度	金沢市角間町	
自然システム学類	4	102		408	学士 (理学・工 学)	1.07	平成20年度	金沢市角間町	
				80		1.08			
医薬保健学域									
医学類	6	112	2年次 5	690	学士 (医学)	1.00	平成20年度	金沢市宝町13-1	
薬学類	6	35	-	210	学士 (薬学)	1.01	平成20年度	金沢市角間町	
創薬科学類	4	40	-	160	学士 (創薬科 学)		平成20年度	金沢市角間町	
保健学類									
看護学専攻	4	80	3年次 10	340	学士 (看護学)	0.99	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
放射線技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.93	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
検査技術科学専攻	4	40	3年次 5	170	学士 (保健学)	0.90	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	

理学療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.82	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
作業療法学専攻	4	20	3年次 5	90	学士 (保健学)	0.83	平成20年度	金沢市小立野5-11-80	
教育学研究科									
教育実践高度化専攻	2	35	-	70	修士 (教育学)	0.62	平成21年度	金沢市角間町	
人間社会環境研究科									
人文学専攻	2	23	-	46	修士 (文学・学 術)	1.06	平成24年度	金沢市角間町	
法学・政治学専攻	2	8	-	16	修士 (法学・政 治学)	0.93	平成24年度	金沢市角間町	
経済学専攻	2	8	-	16	修士 (経済学・学 経営学・学 術)	0.56	平成24年度	金沢市角間町	
地域創造学専攻	2	8	-	16	修士 (地域創造 学・学術)	1.18	平成24年度	金沢市角間町	
国際学専攻	2	8	-	16	修士 (国際学・ 学術)	1.12	平成24年度	金沢市角間町	
人間社会環境学専攻	3	12	-	36	博士 (社会環境 学・文学・ 法薬・政治 学・経済 学・学術)	1.27	平成18年度	金沢市角間町	
自然科学研究科									
数物科学専攻	2	56	-	112	修士 (理学・学 術)	1.10	平成24年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	2	57	-	114	修士 (理学・工 学・学術)	1.18	平成24年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	2	90	-	180	修士 (工学・学 術)	1.31	平成24年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	2	67	-	134	修士 (工学・学 術)	1.17	平成24年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	2	40	-	80	修士 (工学・学 術)	0.90	平成24年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	2	67	-	134	修士 (理学・工 学・学術)	0.98	平成24年度	金沢市角間町	
数物科学専攻	3	15	-	41	博士 (理学・学 術)	0.78	平成16年度	金沢市角間町	
物質化学専攻	3	14	-	14	博士 (理学・工 学・学術)	0.35	平成26年度	金沢市角間町	
機械科学専攻	3	25	-	25	博士 (工学・学 術)	0.32	平成26年度	金沢市角間町	
電子情報科学専攻	3	18	-	48	博士 (工学・学 術)	0.77	平成16年度	金沢市角間町	
環境デザイン学専攻	3	10	-	10	博士 (工学・学 術)	0.50	平成26年度	金沢市角間町	
自然システム学専攻	3	21	-	21	博士 (理学・工 学・学術)	0.42	平成26年度	金沢市角間町	
システム創成科学専攻	3	-	-	-	博士 (工学・学 術)		平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
物質科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工 学・学術)		平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止

環境科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・工学・学術)	1.00	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
生命科学専攻	3	-	-	-	博士 (理学・学術)	0.72	平成16年度	金沢市角間町	平成26年度より 学生募集停止
医薬保健学総合研究科									
医科学専攻	2	15	-	30	修士 (医科学)	1.00	平成24年度	金沢市宝町13-1	
脳医科学専攻	4	16	-	48	博士 (医学・学術)	0.72	平成24年度	金沢市宝町13-1	
がん医科学専攻	4	26	-	78	博士 (医学・学術)	1.07	平成24年度	金沢市宝町13-1	
循環医科学専攻	4	20	-	60	博士 (医学・学術)	0.68	平成24年度	金沢市宝町13-1	
環境医科学専攻	4	14	-	42	博士 (医学・学術)	0.90	平成24年度	金沢市宝町13-1	
創薬科学専攻	2	38	-	76	修士 (創薬科学)	0.92	平成24年度	金沢市角間町	
創薬科学専攻	3	11	-	33	博士 (創薬科学・学術)	1.06	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
薬学専攻	4	4	-	12	博士 (薬学・学術)	1.16	平成24年度	金沢市角間町	
保健学専攻	2	70	-	140	修士 (保健学)	0.97	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
保健学専攻	3	25	-	75	博士 (保健学)	1.10	平成24年度	金沢市小立野5-11-80	
法務研究科	3	25	-	75	法務博士 (専門職)	0.68	平成16年度	金沢市角間町	

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成26年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

（ただし、専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。）

- ・ 「平均定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで（小数点第3位を切り捨て）を、学科単位で記入してください。
- ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。
- ・ 大学においては学科単位、大学院においては専攻単位で記入してください。

4 教員組織の状況

<自然科学研究科>

専任教員数

<物質化学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
16	15	31	18	15	33	65	0
(18)	(15)	(33)	[2]	[0]	[2]	歳	名

<機械科学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
24	18	42	22	21	43	65	0
(22)	(20)	(42)	[Δ2]	[3]	[1]	歳	名

<環境デザイン学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
15	11	26	16	10	26	65	0
(16)	(10)	(26)	[1]	[Δ1]	[0]	歳	名

<自然システム学専攻>

設置時の計画			変更状況			年齢構成	
研究指導教員	研究指導補助教員	計	研究指導教員	研究指導補助教員	計	定年規定の定める定年年齢	定年を延長している教員数
23	20	43	20	23	43	65	0
(20)	(23)	(43)	[Δ3]	[3]	[0]	歳	名

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成26年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：Δ1)
- ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年年齢および、平成26年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数を記入してください。
 - ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

5 その他全般的事項

<自然科学研究科>

情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)

b 公表時期 (未公表の場合は予定時期) (平成26年 7月 1日)